

ごあいさつ

名古屋青年会議所は、現在700名を超える大きな組織となっており、「世界の中心となる名古屋」を目指す運動を行うにふさわしい規模の組織となっています。ですが、さらなる運動の拡がりを目指すためには、今まで以上に強力に運動を行う必要があります、そのためには、会員一人ひとりが自分自身の質を向上していただく必要があります。

そこで、青年会議所を卒業した後の人生に思いを馳せていただき、そこから今の青年会議所活動の意義を見つめ直していただく例会を開催させていただきます。本例会により、青年会議所活動が卒業後の人生に大きな影響を与えていることを知っていただくと共に、会員一人ひとりが、青年会議所活動を何のために、誰のために行っているのかを改めて問い直していただき、活動の意義を再確認していただきます。そして、青年会議所活動を積極的にやっつけようとする揺るぎない情熱を燃え上がらせ、今まで以上に青年会議所活動に邁進していただきたいと考えております。

みなさま奮ってご参加下さいますようお願いいたします。

公益社団法人名古屋青年会議所

第66代 理事長

川中 洋太郎



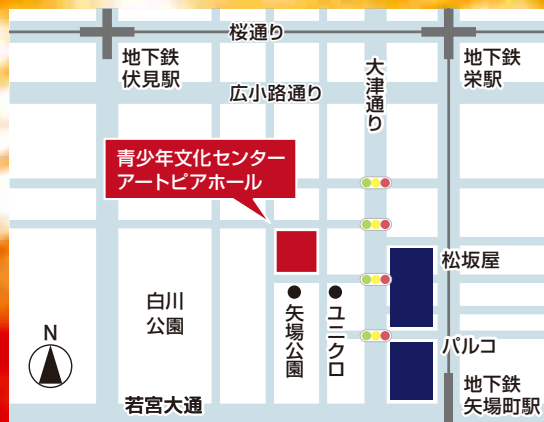
誰のため、
何のための
JCですか？

3月例会ハートに火を灯せ！
会員の情熱が名古屋を変える

2016.3.17 [sat] 19:00 ▶ START

会場 アートピアホール

- ・地下鉄東山線・名城線「栄」下車 南へ徒歩7分
- ・地下鉄名城線「矢場町」下車 5・6番出口より西へ徒歩5分



会員の数だけ**想**いがある

「JC卒業後の空」

池田 弘 先輩

HIROMU IKEDA

1949年生まれ
株式会社アルビレックス新潟 取締役会長
学校法人新潟総合学園 理事長
社団法人新潟青年会議所 1986年度理事長

1974年、実家の神明宮(新潟市鎮座)禰宜に就任後、海外遊学・留学を経て、1977年、愛宕神社の宮司となり、同年に従兄弟を共同経営者とし、新潟総合学院を開校。大学院大学、大学、専門学校、高等学校などの教育機関と、医療及び福祉機関などを運営するNSGグループを築き上げました。

2002年の日韓ワールドカップの開催地として、ブランド力のない新潟に何とか誘致できないかと思い、地元でJリーグを目指すチームを作る必要が生じました。そこで、アマチュアの「北信越リーグ」に参加していた「新潟イレブン」をプロ化することとなり、1996年に株式会社アルビレオ新潟の代表取締役に就任されました。その後、2003年にJ2リーグ優勝を経て、J1入りを実現させた経歴の持ち主です。それはJCで培った精神性と学びがあったからこそ成功できたと言われてます。今回の講演ではJCを一生懸命活動することによって、人生を変えることができるということを伝えていただきます。

タイムスケジュール

18:30	受付開始
19:00	開会
19:01	国家斉唱・JCソング斉唱
19:04	JCI クリード・JCI ミッション及び JCI ビジョン唱和、JC 宣言文朗読及び綱領唱和
19:07	川中理事長挨拶
19:10	第1部 オープニング映像上映
19:15	第2部 講演
20:20	第3部 対談
20:40	第4部 クロージング映像上映
21:00	閉会

第1部 オープニング映像上映

第2部 基調講演

第3部 アンケート結果提示&対談

第4部 インタビュー&クロージング映像上映